

- 2010年より、毎年2月1日から3月18日を「サイバーセキュリティ月間」に設定。各種啓発主体と連携し、インターネットを介してサイバーセキュリティに関する普及啓発活動を集中的に実施。
- 2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体の関連行事やNISC主催のイベントなど一部が開催中止となった。
- 一方で、オンライン開催への変更などにより、各種活動は進められ、総じてサイバーセキュリティに関する普及啓発活動を進めることができた。

## 認知度の高いコンテンツとのタイアップ

- 『ソードアート・オンライン-アリシゼーション-War of Underworld』とタイアップし、特設サイトを開設した。若年層やサイバーセキュリティに関心の薄い層等を含む幅広い層にサイバーセキュリティに対する関心を高めてもらえるよう、キャラクター同士が会話する形でサイバーセキュリティについて学べるような特別コンテンツも掲載し、特設サイト全体で累計約160万PVを達成した。
- より多くの国民にサイバーセキュリティ月間を知ってもらえるよう、登場人物を用いたポスターを作成し、全国の約300機関に約4,200枚を配布した。



配布したポスター

## 情報発信の強化

- サイバーセキュリティ月間の開始にあわせて、2月3日（月）に菅官房長官によるトップメッセージを発信した。
- NISCや関係機関のSNSアカウント等において「#サイバーセキュリティは全員参加」をつけた情報発信を実施した。
- NISCのWebサイトで、7名の有識者による週替わりコラム「サイバーセキュリティ ひとつと言いたい！」を発信した。
- 各種啓発主体の実施する行事をサイバーセキュリティ月間関連行事と位置付けて募集し、160件の登録を得た。NISCのWebサイトやSNSで案内を行った（うち、中止等連絡のあったものは26件）。
- SNSで10代を中心に多くのフォロワーを抱えるインフルエンサーを6名起用し、InstagramやTwitterにおいてサイバーセキュリティを啓発する投稿を行うことで、サイバーセキュリティに関心の薄い層にもサイバーセキュリティに対する関心を高めていただいた。



官房長官トップメッセージ

## イベント・行事の開催

- **NISC-CTF** [CTF: Capture The Flag, セキュリティ技術の競技]  
2月19日に各府省庁・独法等の職員の参加による、サイバーセキュリティに関する幅広い技術・能力を競う競技会を開催。
- **NISC主催 特別イベント「たちあがれ！この世界（インターネット）を守るために。」の動画収録及び配信**  
NISC主催の秋葉原での集客イベントは新型コロナウイルス感染症の影響により中止とし、オンライン開催へ変更。イベント内容を動画収録し、YouTubeにて配信した。閲覧数は約2,600回となり、所期の普及啓発上の訴求を実施できた。



NISC-CTFの様子



NISC主催 特別イベントの収録の様子



- タイアップコンテンツの起用や特別イベントの取組について、効果の分析を実施し、次回以降の取組に反映する。
- 特に、今回は緊急的に実施したインターネットを介したイベントの配信について、より効果的に実施できるよう検討を進める。